

1 インタフェース概要

インタフェース概要を図1-1に、運用概要を表1-1に示す。

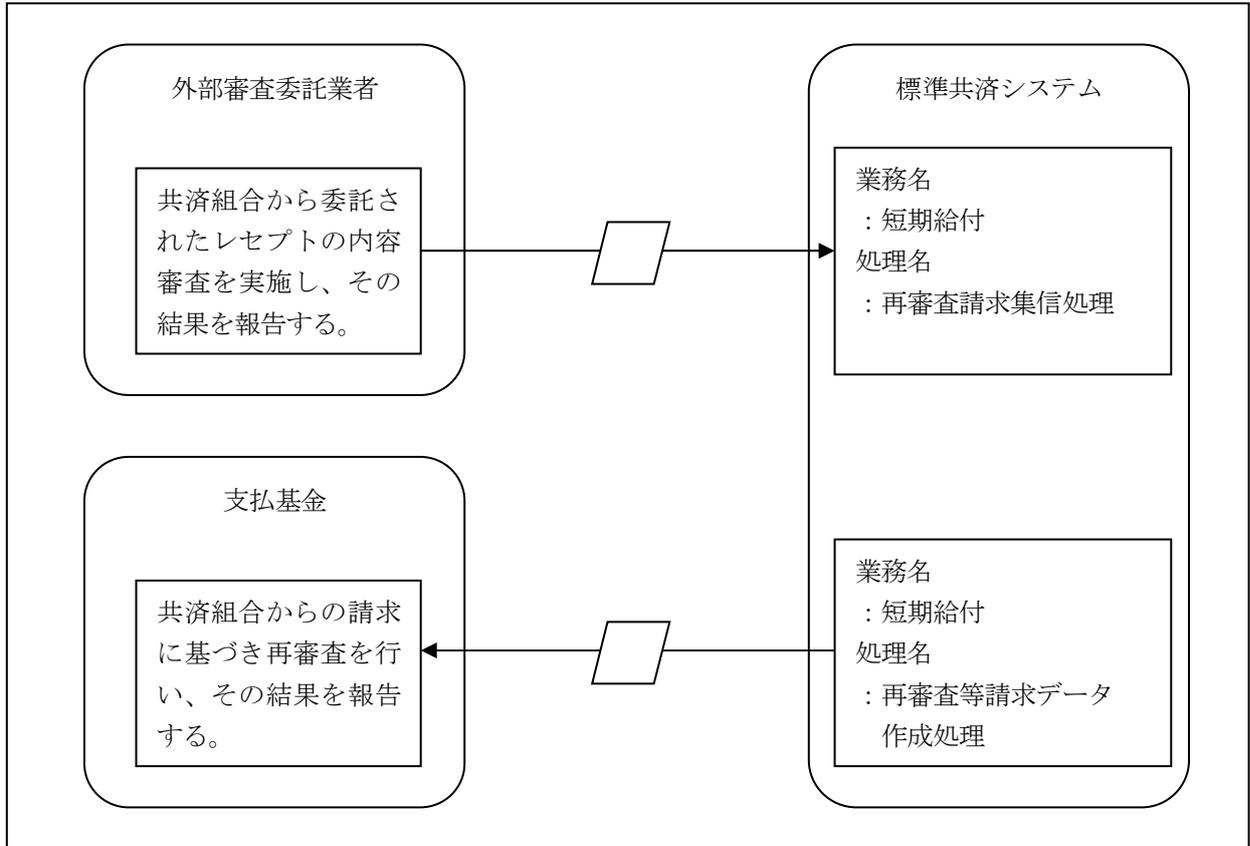


図1-1 インタフェース概要

表1-1 運用概要

項番	作成データ	作成単位	作成契機/引渡し時期	受取支部	備考
1	再審査請求データ	支部単位	月次	各支部	

## 2 共通仕様

### 2. 1 媒体仕様

社会保険診療報酬支払基金の定める「電子媒体による再審査等請求規定」に則る。

### 2. 2 設定内容共通事項

社会保険診療報酬支払基金の定める「電子媒体による再審査等請求規定」に則る。

## 3 レコードフォーマット

社会保険診療報酬支払基金の定める「電子媒体による再審査等請求規定」に則る。

## 4 補足事項

### (1) ウィルスチェックについて

- ① 標準共済システムから受領したデータは、最初に必ずウィルスチェックを行う。

ウィルス対策ソフトウェアの即時ウィルスチェック機能が有効になっていることを確認してから、受領した電子媒体をクライアントにセットするか、または受領した電子媒体に対して、手動でウィルスチェックを行う。

- ② 標準共済システムへ渡すデータ(電子媒体)に対して、事前に必ず手動でウィルスチェックを行う。

※手動ウィルスチェックの操作方法等に関しては、各システムの運用マニュアル等を参照のこと

### (2) 文字コード (Unicode) ・外字について

標準共済システムは文字コードに Unicode を採用し、外字も使用可能である。Unicode には、対応する JIS コードやシフト JIS コードが存在しない文字コードが存在する。また、外字も標準共済システム以外のシステムには存在しないと想定される。したがって、標準共済システム以外のシステムにおいて、表示不正が発生する可能性がある。

標準共済システムは、表示不正の発生防止のために、対応する JIS コードやシフト JIS コードが存在しない Unicode および外字を別の文字に置換して連携データを作成する。

置換文字は一律“■”(JIS コード : 2223 (16 進数)、シフト JIS コード : 81A1 (16 進数)、Unicode : 25A0 (16 進数)) とする。